

各部会の活動経過

安全・安心に関すること

まちづくりワークショップ 第3回 まとめ <第1部会：安全・安心>

日 時：平成21年4月11日（土）13：00～15：00

場 所：市役所議会棟4階第一委員会室

出席者：今井、大野、川原、杉本、中川、長島、穂積、（高田） 計8人

<意見のポイント>

○「安全・安心のイメージ」

（良い点）

- ・昔に比べて街がきれいになった
- ・マスコットキャラクター“はちかづきちゃん”は、「ゆるキャラ辞典」にも載っている



（良くない点）

- ・ニュースになるような事件（殺人や窃盗など）が目立ち、他市民からのイメージが悪い
- ・市民がせかせかしている感じ

○「防犯・治安」

（良い点）

- ・街灯を一部、ブルーライトで設置するなど先進的に取り組んでいる（現在4自治会で設置）
街灯を設置して明るくすると、その住民から苦情が出る
- ・青色回転灯のミニパトカー24台が配置され、登下校時にボランティアが活動している
- ・ホームレスが少ない（？）

（良くない点）

- ・全体的に薄暗い、寝屋川市駅前が暗い
夜は意外に住宅地が暗くない
- ・大学への近道で痴漢が多発
- ・交番が少ないのではないか（要確認） 警察官が交番に不在の時がある
- ・通学路が安全ではない（垣根、信号）
- ・防犯に注意が足りない

○「防災」

（良い点）

- ・自主防災組織がしっかりしている（小学校単位で自主防災協議会を設置）
- ・防災訓練は良い取組

もっと市民は参加してほしい

- ・門柱に貼るステッカーを配布している

(良くない点)

- ・道路が狭く、緊急車両が通りにくい

○「衛生環境」

(良い点)

- ・水道水がおいしい
- ・ごみが少なくなった
- ポンプ場付近は汚い

(良くない点)

- ・どぶ川が汚い、昨年まで市から消毒剤が配布されていたが無くなった
- ・川を清掃する人が高齢者ばかりに頼っている

○「健康・福祉」

(良い点)

- ・市内に大きな公園がある、スポーツのできる公園が多い(打上川治水公園、ABC 公園 など) 子どもが元気に公園で遊んでいる
- ・桜並木が各所にあり散歩できる

(良くない点)

- ・個々人が健康に注意が足りない
- ・国民健康保険料が他市に比べて高い(日本一? 要確認)
- ・市民病院が無い(良いか悪いかは様々な意見がある)
- ・60 歳以上の職場が少ない(働ければ健康にも良い)

○「交通・移動」

(良い点)

- ・公共施設間の移動がしやすい(シャトルバス)
- ルートは駅近もあるとよい

(良くない点)

- ・鉄道高架(京阪)の整備が遅い

○「地域力・コミュニティ」

(良い点)

- ・自治会活動に熱心である
- ・ボランティアが多い

- ・地域教育協議会（すこやかネット） 子どもの安全見守り隊

子どもに対する関心が低く大人が見て見ぬふりをする

（良くない点）

- ・類似した活動団体があり役員をする人が重なる
- ・一人暮らしをしたときに近所のことを聞ける人が少なそう

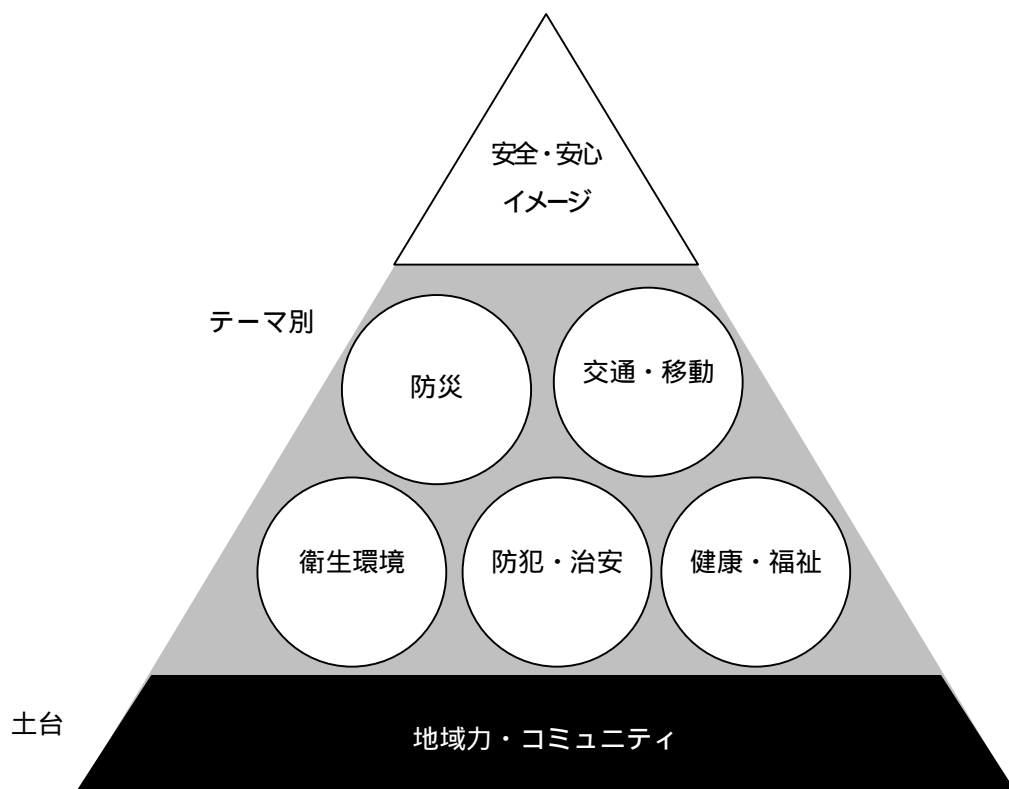
< 次回すること >

本日の「安全・安心」に関する意見を素材にして、次回は、以下のテーマで進めることとした。

「安全・安心」に関する内容を深めよう

- ・不足している視点や課題をもっと出し合う
- ・疑問点に関する客観的なデータを調べる
- ・市内や他市で良いと思う事例を持ち寄る

以 上



まちづくりワークショップ 第4回 まとめ <第1部会：安全・安心>

日 時：平成21年4月24日（金）18：30～20：30

場 所：市役所議会棟4階第一委員会室

出席者：今井、川原、杉本、中川、長島、穂積、（高田） 計7人

<意見のポイント>

前回の「良い点」「良くない点」の洗い出しを踏まえ、第4回では、子どもや高齢者、障害者など立場別の視点や、一日のライフスタイルの視点（通勤・通学や買い物行動など）から、寝屋川市の「良い点」「良くない点」について、さらに意見交換を行った。

○学生の視点

（良い点）

- ・周辺MAPが配布されており、大学生の通学や買い物に便利
→市内の小中学校でも校區別に安全・安心マップがあればよい
→授業の中で作っている学校は無いかな

○子どもの視点

（良い点）

- ・子どもの登下校時の見守り隊活動が全小中学校で実施されている

（良くない点）

- ・子どもの目があるのに、大人が時々くわえタバコを道に放っている場合がある（車の中からも同じようなことをしている）「マナーの問題」

○子育て層の視点

（良くない点）

- ・保育所が少ない
- ・小児科病院が少ない
- ・救急の受け入れ体制は整っているのか
→他市と比べてどうなのか？ 事実関係の確認が必要

○高齢者の視点

（良くない点）

- ・狭くて段差の多い歩道を自転車で走るのは危険
- ・狭い道で左側を歩いていると、後ろから自動車や自転車に当てられる場合がある

○障害者（車椅子利用者等）の視点

（良い点）

- ・歩道・段差が多い
- ・歩道の無い道路がある

○自転車に乗る人の視点

（良い点）

- ・駐輪場の整備が良かった
→放置自転車減った

（良い点）

- ・自転車と歩行者が出会い頭に追突事故を起こすことが多い
- ・道が狭く事故が多い
- ・マナー悪い

○情報共有・情報伝達について

（良い点）

- ・安心・安全メールは良い取り組みである
- ・警察署の HP には、安心・安全に関する情報が掲載されている。例えば、不安や怖いイメージに対するケアや対処方法（女性に対するひったくりなど）が載っている。
- ・白いボールには青いテープが貼ってあり、そこに書かれている数字を警察に伝えることで、簡単に現在地を伝えることができる（全国で平成 18 年から設置されているが、地域によって表示方法は異なる）
→来訪者にとっても役立つ仕組みである
→市民には、そのような仕組みの情報が伝わっていないという問題がある

< 次回すること >

最終の提案とりまとめに向けた今後の進め方について、第 1 部会としての方針を意見交換し、確認した。

課題を踏まえ、今後の取組に関するアイデア出しを行おう

- ・ドリームプランとして、今後取り組んでみたら良いと思うことをより多く出し合う
- ・可能な範囲で、疑問点に関する客観的なデータや、寝屋川市及び他市で良いと思う事例を持ち寄る（最終提案まで継続して各自が情報収集する）

以 上

まちづくりワークショップ 第5回 まとめ <第1部会：安全・安心>

日 時：平成21年5月8日（金）18：30～20：30

場 所：市役所議会棟5階第二委員会室

出席者：今井、大野、杉本、中川、長島、穂積、（高田） 計7人

<意見のポイント>

第3回及び第4回の「良い点」「良くない点」の洗い出しを踏まえ、寝屋川市において、今後、取り組んでいったらよいと思う「安全・安心」な方策について、自由にアイデア出しを行った。その際、HP等によって収集した情報の紹介も行われた。

○防災

- ・基本的な情報発信（防災・防犯活動や救急等の電話番号、避難所等）は市民が各自おさえおくことが大事。

現在あるもの（寝屋川市防災マップ、寝屋川市暮らしの便利帳）は本当に利用されている情報グッズなのかどうかチェックすることが必要

- ・避難場所の設定は適切かどうか、市民にとって避難しやすいかどうかの市民自身の確認
- ・炊き出し大会（地域対抗！？）

現在も炊き出しは地域で実施されている

- ・防災器具の点検

防災倉庫にある器具は、現在2年に1回訓練で確認しているが、もっと頻度を増やす必要もある

- ・地震に対する危機管理として、古い家などの修理及び建て替えに関する市の低利融資
- ・安心した業者の選択

人と人のネットワークで紹介してもらう方が安心

行政では業者紹介しにくいので、市民による口コミサイトを立ち上げてはどうか

○交通・移動

- ・高齢化でシルバーカー等の利用が増えてくるので段差のない歩道を整備

参考：東京消防庁のデータによると、電動車椅子の利用事故が増加

- ・交通や移動に関して人と人の温かい関係をつくるため、学校や家庭で安全教育を実施
- ・現在、タバコの吸い殻ポイ捨て禁止に関する条例（寝屋川市美しいまちづくり条例）があるので、歌を作って街頭でPRする

枚方市は歌を作って流していて耳に残っている

○衛生・環境

- ・年に一度、地区ごとに一斉清掃

昔の習慣を復活

- ・犬、猫の散歩マナー強化

○防犯・治安

- ・「現在地認知システム」(道路標識の管理データを利用して、現在地を伝える青テープ)を市民にPR

- ・警察OBに依頼してまちの見回りを強化(警察官が少ないと思う)

- ・地域パトロールカー運用の担い手づくり、事故対策など安心して取り組める環境を整備
現在、地域パトロールカーは24台あるが、比較的出動が少ないのでは。

○健康・福祉

- ・メタボ対策のモニター募集

近隣市(北大阪や北河内)のHPと比較して、寝屋川市は健康のPRが特徴的

- ・認知症早期発見のための地区ごとの会議開催

事例：生野区では地区ごとの会議の開催回数が多い

○地域力

- ・安全MAPの作成(各地域で作し、その後、寝屋川市全体のマップにする)

- ・交通・マナーに関する「寝屋川写真館」をHP等で設置

どれだけ自分たちの地域の良いところ、悪いところを知っているか挙げてもらい、コンテストにして、地域に対する関心を高める

- ・単身者が地域活動に参加できる窓口を設置

○イメージアップ

- ・寝屋川市駅前に大きなはちかづきちゃんを設置

- ・はちかづきちゃんを活用したストーリーづくり

- ・子どもを対象に楽しくはちかづきちゃんをPR

< 中間発表への取り組み方針 >

第1部会としての発表内容、及び15分間の時間配分について意見交換し、確認した。なお、発表者については当日の最初の時間に相談して決めることになった。

他部会のメンバーからもアイデアをもらおう

(10 分説明)

- ・ 課題 (第 3 回、 4 回) は簡単に要点説明
- ・ アイデア (第 5 回) を中心に途中経過を説明

(5 分質疑応答)

- ・ この時間を利用して他部会のメンバーから、安全・安心に関するアイデアを頂く

< 次々回すること >

各自、今回のテーマに沿って自由にアイデア (何をすべきか) を考えておき、次々回に提案する。できる範囲で他市の先進的な事例を収集する。

以 上



まちづくりワークショップ 第6回 まとめ <第1部会：安全・安心>

●防災

基本的な情報発信（防災・防犯活動や救急等の電話番号、避難所等）は市民が各自おさえおくことが大事／避難場所の設定は適切かどうか、市民にとって避難しやすいかどうかの市民自身の確認／防災器具の点検／地震に対する危機管理として、古い家などの修理及び建て替えに関する市の低利融資／安心した業者の選択／人と人のネットワークで紹介してもらう方が安心／行政では業者紹介しにくいので、市民による口コミサイトを立ち上げてはどうか

●交通・移動

高齢化でシルバーカー等の利用が増えてくるので段差のない歩道を整備／交通や移動に関して人と人の温かい関係をつくるため、学校や家庭で安全教育を実施／現在、タバコの吸い殻ポイ捨て禁止に関する条例（寝屋川市美しいまちづくり条例）があるので、歌を作って街頭でPRする

●衛生・環境

年に一度、地区ごとに一斉清掃／犬、猫の散歩マナー強化

●防犯・治安

「現在地認知システム」（道路標識の管理データを利用して、現在地を伝える青テープ）を市民にPR／警察OBに依頼してまちの見回りを強化（警察官が少ないと思う）／地域パトロールカー運用の担い手づくり、事故対策など安心して取り組める環境を整備

●健康・福祉

メタボ対策のモニター募集／認知症早期発見のための地区ごとの会議開催

●地域力

安全MAPの作成（各地域で作り、その後、寝屋川市全体のマップにする）／交通・マナーに関する「寝屋川写真館」をHP等で設置／単身者が地域活動に参加できる窓口を設置

●イメージアップ

寝屋川市駅前に大きなはちかづきちゃんを設置／はちかづきちゃんを活用したストーリーづくり／子どもを対象に楽しくはちかづきちゃんをPR

まちづくりワークショップ 第7回 まとめ <第1部会：安全・安心>

日 時：平成21年6月20日（土）13：00～15：30

場 所：市役所議会棟4階第1委員会室

出席者：大野、杉本、川原、中川、長島、穂積、（高田） 計7人

<意見のポイント>

第5回に出し合った、今後取り組んでいったらよいと思う「安全・安心」な方策のアイデアについて、さらに、他の地域の先進事例等も調べながら、寝屋川市で取り組んではどうかという各自のアイデア（ドリームプラン）を持ち寄り、意見交換した。

また、第1部会としての取りまとめ方針についても意見交換した。

○防犯・治安

- ・わが地区自慢（防犯・治安の情報共有）

- ・「現在地認知システム」の紹介

- ・「空き巣警戒中」全市拡大（各戸に）

（事例）玄関にぶら下げるプレートを、境橋自治会等で1枚100円で自治会単位で作成

- ・門灯の点灯活動（運動）

- ・声かけ運動（声をかけるようにすれば、泥棒を追い出せる）

- ・防犯バンダナを巻いた犬の散歩

（事例）わんちゃんサークル バウワウ（寝屋川市）

- ・ウォーキングの人が多いため、パトロールも兼ねた取り組みにつなげる

- ・企業にも犯罪予防で一役買ってもらう（例：ピザの配達時にパトロールの印を付ける等）

- ・地域の人による防犯マップづくり（一度に掲載できないが、広報誌の特集号で取り上げたり、市のHPに掲載する）

（事例）吹田市青少年指導員会では「こども110番の家」の位置を表すマップを子どもと一緒に作成

- ・防犯ボランティアの啓発活動やリーダー研修会

（事例）

- ・防犯ボランティア活動の啓発（防犯ボランティア活動ハンドブックなど（大阪府））

- ・災害ボランティアリーダー研修会（大阪府）

○防災

- ・「学校」「コンビニ・スーパー」「住民」等が連携する防災コミュニティづくり（災害予防）

- ・夜の防災訓練（コンビニは24時間営業なので協力してもらえないか）

- ・自主防災協議会の運営検討

情報：寝屋川市では「寝屋川市安全の推進に関する条例（仮称）」を制定予定

○健康・福祉

- ・ 5 人のメタボ戦隊を組織し、寝屋川市内で活動。経過をネット配信するなどの番組づくり（健康のイメージアップにつなげる）

○イメージアップ

- ・ 市外から来てもらう活動（寝屋川市駅のそばで目印となる灯台のようなものを作れないか
- ・ テレビや新聞等に載せてもらえる工夫
（事例）寝屋川せせらぎ公園での川下りイベント（ねや川水辺クラブが主体）
- ・ はちかづきちゃんの性格付けとPR（平成2年の花博で誕生、もうすぐ20歳で成人式をする等）
防犯活動や防災活動を住民、事業者、行政が一体となって取り組むとイメージアップにつながる

○地域力

- ・ 地域内の組織に関する再整理（社会を明るくする運動、自治会、防犯協会、青少年健全育成、地域教育・・・）

○交通・移動

- ・ ハードとソフトの中間領域（ミドル面）での対応

< 取りまとめ方針 >

- ・ 提言の冒頭に「安全・安心に取り組む理念」を付ける
“ 基本は市民自ら取り組むこと ” “ 自分たちから行動を興し、人を作っていく ”
- ・ 課題に対応して、これまでに出的意見を整理し、項目ごとに網羅的にアイデアをまとめる。同時に、アイデアの多かった「防犯・治安」「防災」「イメージアップ」「地域力」にテーマを絞って、アイデアの概要をまとめる。
- ・ アイデアを誰がやるかまで提言できるとよい

< 次回すること >

各自、今回及び前々回に出したアイデアを基に、取組内容等について深めた提案を持ち寄る。

以 上

まちづくりワークショップ 第8回 まとめ <第1部会：安全・安心>

日 時：平成21年7月3日（金）18：30～20：30

場 所：市役所議会棟4階第一委員会室

出席者：今井、大野、川原、中川、長島、（高田） 計6人

<意見のポイント>

第7回で決めた担当テーマに関する今後の方策アイデアについて、お互い考えてきた内容を発表し、意見交換を行った。

また、第1部会としての取りまとめに関する構成案についても意見交換し、方向性を決めた。

○地域防犯マップづくり

- ・3つの視点（「こども：小学校区単位」、「女性：中学校区単位」、「高齢者（おとな）：コミセン単位」）から、官・民・学の連携と協働によるマップづくりを提案。

○市民、企業、行政が一丸となって防犯に取り組み、安全なまちを作り、内外にアピール

- ・防犯HPの作成や市民防犯ネットワーク
- ・防犯リーダーの設置を提案。

○コンビニエンスストアの寝屋川版SS（セーフティ・ステーション）活動

- ・全国で2002年から始まっているコンビニのSS活動について、寝屋川市における現状把握を行い、独自の支援メニューに取り組むことを提案。

○イメージ発信

- ・イメージ発信については、次のようなアイデアが提案された。はちかづきちゃんを活用した安全灯の設置、市民ボランティア支援、市内文化情報のパブリシティ利用、目標を持った散歩の実施、市内各駅での市グッズの販売、落書き対策、健康づくりなど。

○参考情報の確認

以下の情報について情報共有した。

- ・寝屋川市内の各種地域団体の種類・活動内容・エリア
- ・パウワウ（わんちゃんサークル）によるパトロールバンダナの取組
- ・寝屋川市安全の推進に関する条例（素案）

< 提言書の構成案 >

第 1 部会としての提言書は、次のような構成でまとめることに決まった。

- 1 . 安全・安心なまち“ 寝屋川市 ”をめざして～第 1 部会からのメッセージ～
- 2 . 「安全・安心」の面で、寝屋川市の良い点・悪い点は？
- 3 . 安全・安心な寝屋川市をつくるためのアイデア（提言）
- 4 . アイデア・モデルの検討

< 次回すること >

提言書については、これまでの議事録の内容や今回の提案を反映させる形でとりまとめる。また、各自、提言書 1 のメッセージに関する内容について、次回、意見を持ち寄り、完成型に近づける。

以 上

部会名	第 1 部会：安心・安全に関すること
分野に対する考え方	わたしたちは、寝屋川市を“もっと”安全・安心なまちにしていけるために、次のような考えが大事であると考えます。 “ じっとしてるより、まず、行動！ ” “ まちの安全・安心は、ご近所さんとのあいさつから ” “ 安全・安心なまちづくりの仲間を増やそう ”
提 言	安全・安心な寝屋川市をつくるためのアイデア 防犯・治安 ● 現在地認知システムの P R 《市民・行政》 「現在地認知システム」(道路標識の管理データを利用して、現在地を伝える青テープ) の認知度が低い ● 警察 O B による街の見回り強化 《市民・行政》 現職警察官の人員だけで不足する部分をカバーする仕組みが必要 ● 地域パトロールカー運用の担い手づくり 《市民》 地域によって運用回数が少なく、担い手側の事故補償に対する支援など安心して取り組める環境整備が必要 ● 地域住民による安全マップづくり 《市民・事業者・行政》 地域住民が自分のものとして意識し、利用しやすいマップの作成が必要。 マップ作成においては、写メールなどを活用してわかりやすく、関わりやすくする ● 防犯・治安活動のわが地区自慢コンテスト 《市民》 各地域では、防犯・治安の情報が共有できていないので、そのためのきっかけづくりが必要 ● 「空き巣警戒中」プレートの全市拡大 《市民》 玄関に下げる警戒中のプレートを自治会単位で作成し、掲示することによって空き巣に入られにくくなる ● 門灯の点灯運動 《市民》 夜中も安心して歩ける通りにするためには、街灯だけでなく、各戸の門灯も活用できる

提 言	● 不審者への声かけ運動《市民・事業者》 不審者に対して声をかけるようにすれば、地域で泥棒を見張っている雰囲気を作り出すことができ、結果的に追い出せる ● 防犯バンダナを巻いた犬の散歩《市民》 犬の散歩をしている人が多いので、防犯見回りも兼ねることで、犯罪を起こさせない街の雰囲気を作り出すことが可能 ● ウォーキング防犯活動《市民》 健康志向でウォーキングをする人が多いので、防犯見回りも兼ねることで、犯罪を起こさせない街の雰囲気を作り出すことが可能 ● 防犯ボランティアの啓発活動やリーダー研修会《行政》 地域で防犯ボランティア活動をしたいと思っている人のきっかけづくりを作りだすことが必要 - 防災 ● 防災基本情報個別チェックシートの作成《市民》 防災・防犯活動や救急等の電話番号、避難所、安全な避難ルートなどは市民が各自でおさえておくことが大事 ● 地域対抗炊き出し大会《市民》 炊き出しを地域対抗の大会で行うことにより、防災への意識を高める。災害時のように急な対応ができる練習が必要 ● 防災器具の点検《市民》 防災倉庫内の器具や備品をいざというときに使えるように、もっと確認の頻度を増やすことが必要 ● 耐震改修・建替低利融資《行政》 耐震のための改修や建て替えを進めることが必要であり、それを促進するための支援が必要 ● 安心できる建替事業者情報の提供《市民》 知り合いによる事業者の紹介が最も安心であるが、口コミサイトとして民間（市民有志）で設置することも可能 ● 寝屋川市美しいまちづくり条例啓発ソングによるPR《市民》 駅などの公共空間で美化に関する歌が流れていれば、その考えが自然と耳に付いてくる ● 夜間防災訓練《市民・事業者・行政》 防災訓練は通常、昼間に行われるが、災害は夜にも起こることが考えられることから、24時間営業のコンビニなどと協力して取り組むことも必要
-----	--

提 言	地域力・コミュニティ ● 地域内の組織に関する整理・統合《市民・行政》 地域内には、防犯や防災に関する組織が多数存在するが、取り組みや担い手が重複することも多く、整理をして効率良く取り組むことが必要 ● 防災コミュニティづくり《市民・事業者・行政》 住民だけでなく、学校、事業者（コンビニ・スーパー）などとも連携した防災コミュニティを作ることが必要 ● 単身者向け地域活動相談窓口の設置《市民》 単身者は地域活動に参加するきっかけが無く、どこに相談してよいかわからないことが多い ● 地域活動の人材募集に関する広報支援《市民・行政》 地域には、様々な知恵を持つ市民がたくさんいるので、地域人材を活用する仕組みが必要 安全・安心イメージ ● 戦略的なパブリシティ（広報・宣伝）の実施《市民・行政》 市内の犯罪に関するニュースが発信されるたびにイメージが低下するので、逆に、安全・安心に係わる市民や行政の活動を積極的にテレビや新聞等に載せてもらう工夫が必要 ● 市キャラクター「はちかづきちゃん」のPR《市民・事業者・行政》 もうすぐ誕生から20歳になり、人間で言えば成人となる「はちかづきちゃん」を活用して、寝屋川市のイメージアップを図る ● 安心できる光や音などの目印の検討《市民・事業者》 ここが寝屋川市であるという安心感を持たせられる光や音などの目印が作れないか。ただし、どのような場所に行くときに迷いやすいか、その際に光や音は目印となるのか、どんな場面で必要なかを調査し、検討することが必要
-----	---

